OWNER'S MANUAL

MUSIC MONITOR SPEAKER SYSTEM

111PYB/111PYW

この度は111PYB/111PYWをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。

111PYB/111PYW取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ **警告**	⃠	●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードをくぎやステップルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	△	●スピーカー内部に金属片や異物などを入れないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	●	●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
	⃠	●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	⃠	●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
	●	●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠ **注意**	⃠	●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
	●	●スピーカーを高いところに設置される場合には、足場が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	⃠	●定格を超える信号を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⃠	●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
	⃠	●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。 他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。
	●	●窓を閉めきった自動車の中や直接日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

目　次

安全上の留意項目……2
特長……3
開梱に際してのご注意とお願い……4
各部の名称……4
接続について……5
設置について……6
再生および調整……6
取り付け金具について……7
スピーカーのお手入れについて……7
故障の場合のお問い合わせ先……7
寸法図…… 裏表紙
仕　様…… 裏表紙
保　証…… 裏表紙

特　長

小型高性能スピーカーシステムの代名詞としてベストセラーを続けているモデル101MMの開発グループより生まれたBOSE111PYB/111PYWは、特殊成型樹脂のピラミッド型のエンクロージャーを採用したスピーカーシステムです。極めて高度な流体力学理論（エネルギーインバーターストラクチャー〈ELS〉）基づく新開発の“エアロダイナポート”〈特許出願中〉です。このキャビネット容量では従来不可能とされた低域再生を実現。あらゆるライフスタイルにマッチする設置方法の提案と高音質の両立を実現した画期的なスピーカーシステムです。

スピーカーの防磁について

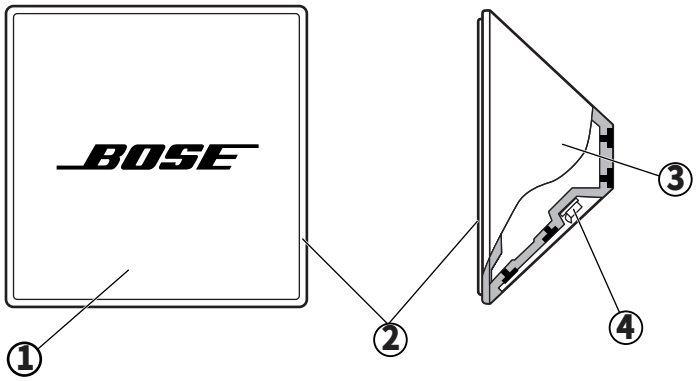
このスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、ブラウン管方式のテレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

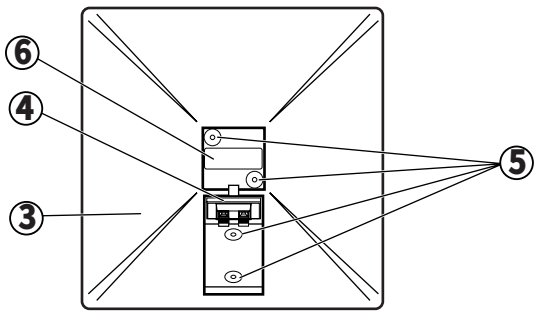
あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトテープから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

開梱に際してのご注意とお願い

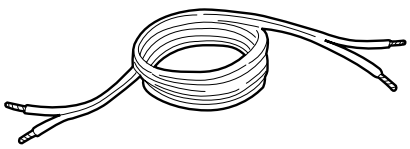
製品を取出す際は、グリルをおさえて持ち上げないでください。また、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

各部の名称





① グリル
② フロント
③ バック
④ 接続端子
⑤ オプション取付用埋込ナット
⑥ 製造番号

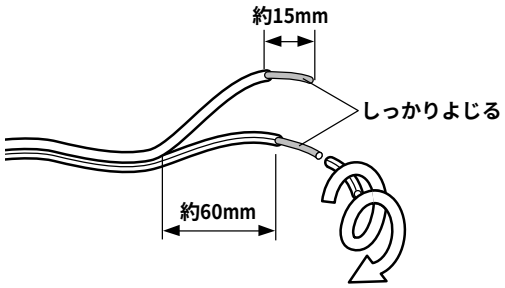


付属品
スピーカーコード　2m×2本

接続について

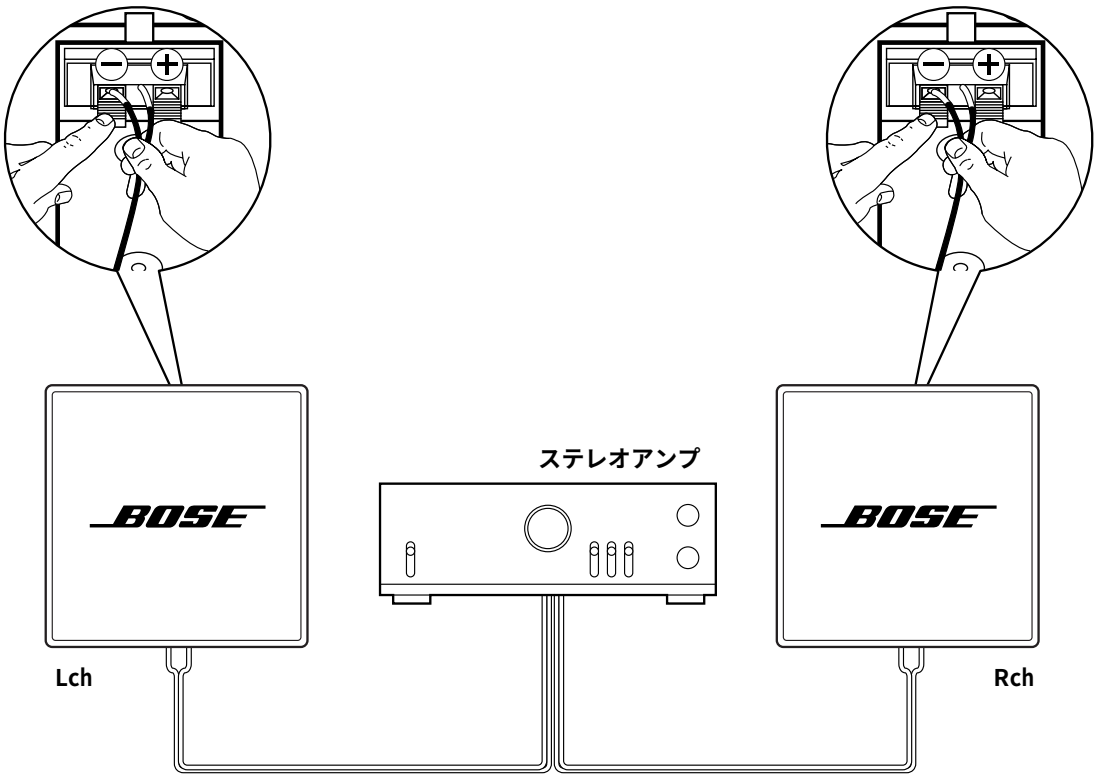
スナップインターミナルを使用して接続する場合

- ●スピーカーとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。
- ●スピーカーの裏面にあるスナップインターミナルとアンプからの出力端子を、スピーカーコードで接続してください。対応コードは、0.5mm^2～1.25mm^{2}です。
- ●スピーカーコードは、右の図のように先端の被覆をむいておきます。
- ●スピーカーコードは、スピーカーの⊕側端子とアンプの⊕側端子とを、スピーカーの⊖側端子とアンプの⊖側端子とを接続してください。



※スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。

アンプと接続する場合



※モデル111PYB/111PYWは左右対称になっていませんが、スピーカーシステムがワンウェイ（フルレンジ）の場合は、音響特性上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。

設置について

スピーカーの再生音は、スピーカーを設置する場所やリスニングルームの状況などに大きく影響されます。より良い再生音が得られるよう次の点に考慮されたうえ、設置してください。

●できるだけ遮音された静かな部屋でご使用ください。

●スピーカーは、聴取される耳の高さとほぼ同じになるように設置するのが理想です。

●音質は部屋の音響特性によって変化します。室内に吸音処理することによって、周波数に対する残響時間のバラつきを抑え良好な再生音を得ることができます。

●スピーカーの正面にガラス戸や壁面などありますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、カーテンや厚手の布などをかけて、吸音処理することをおすすめします。

●スピーカーを固い床などに直接置いてご使用されますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、じゅうたんを敷くことによって防止することができますが、じゅうたんの厚みや質によっては、中高域が吸収されすぎることがありますのでご注意ください。

●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーができるだけ同じ音響条件になるように設置してください。左右のバランスがそろっていないと、定位がぼやけたり焦点の定まらない音になります。

●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーの間隔は聴取位置との相関によって変わります。通常聴取位置から左右のスピーカーをはさんだ角度は40〜60度くらいが良く、あまり狭くすると十分なステレオ感が得られなくなります。

再生および調整

●聞き慣れた音楽ソースを用意してください。アンプのボリュームを最小にした状態で電源を入れ、徐々に音量を上げていってください。

●スピーカーは設置する場所によって低音の量感が変わります。低音が出すぎると感じた場合は、壁やコーナーから離してください。また、低音が足りないと感じた場合は壁やコーナーに近づけてください。

取り付け金具について

●111PYB/111PYWの豊富な種類の取り付け金具がご使用になれます。詳しくは、カタログをご参考になるかボーズ製品の販売店もしくはボーズ株式会社までお問い合わせください。

> ⚠ **注意**　**このスピーカーのグリルは無理に外そうとすると、ケガをしたり、製品を破損させるおそれがあります。**

ロゴの向きを変えたい場合は、専門の業者に相談していただくか、下記インフォメーションセンターまでお問い合せください。
インフォメーションセンター　　TEL：03-5489-0955

スピーカーのお手入れについて

キャビネットの汚れを落とす場合

●汚れやホコリは、柔らかい布で、から拭きをしてください。

●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを拭きとり、別の乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。

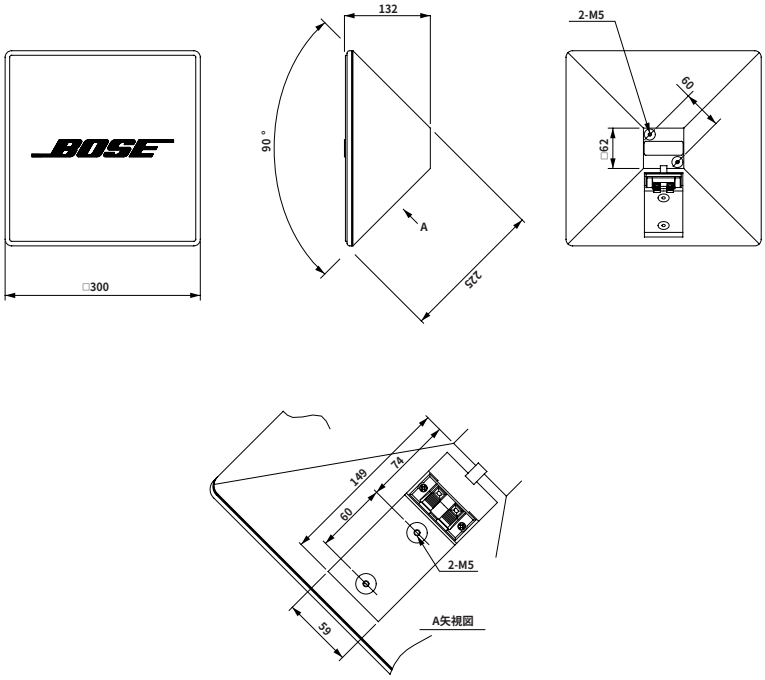
●シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社　☎042-357-5250
住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンターまで、ご連絡ください。　☎03-5489-0955

寸法図



仕　様

ユニット構成	11.5cmフルレンジドライバー×1
再生周波数帯域	65Hz～17kHz
インピーダンス	6Ω
許容入力	45W rms（IEC268-5）、150W（peak）
感度	86dB SPL、1W、1m
指向特性	水平：130°垂直：130°
入力端子	スナップイン・ターミナル
外形寸法	300（W）×300（H）×132（D）mm
質量	3.3kg（1本）
付属品	スピーカーコード（2m）×2本

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®

ボーズ株式会社

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1320
05•04-F-A•1（I-M）